

2022年6月23日
西日本旅客鉄道株式会社

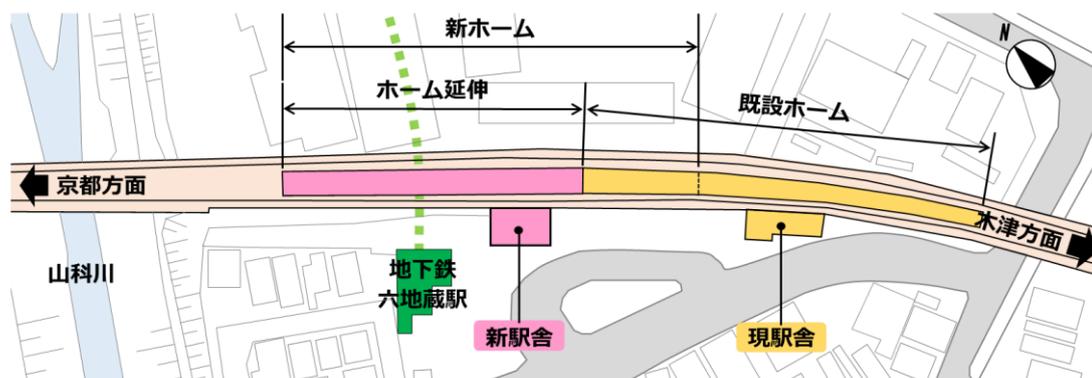
奈良線 六地蔵駅改良工事の概要について

奈良線の六地蔵駅改良工事については、2017年度に宇治市と当社の間で協定を締結のうえ、2020年3月より着手し鋭意工事を進めているところです。このたび、駅設備などの概要が決まりましたので、お知らせ致します。

1 計画概要

【工事内容】

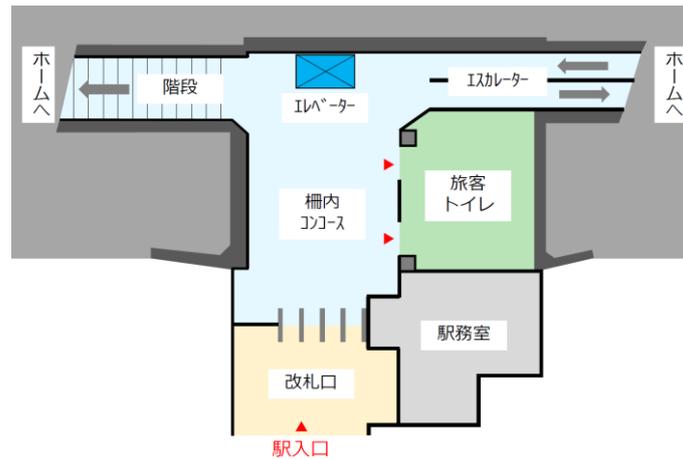
バリアフリー化と地下鉄乗り換え利便性の向上のため、京都方面に駅舎を移転します。またホームを京都方面へ延伸・移設し、ホーム・階段幅員の拡大やホーム部分の曲線緩和を行うことで、安全性向上を図ります。



【駅概要】

項目	改良後	現行
駅舎	地平駅舎（鉄骨造：388 m ² ）	地平駅舎（鉄骨造：240 m ² ）
ホーム・旅客上家	島式1面 長さ125m 幅員6.7～8.0m 上家6両分	島式1面 長さ125m 幅員4.8～6.0m 上家5両分
柵内コンコース	幅員6.0～7.8m	幅員3.7m
階段	幅員2.8m	幅員2.3m
改札内エレベーター	1基〈11人乗〉	なし
改札内エスカレーター	上り・下り1基ずつ（計2基）	上り1基
改札内トイレ	男・女1箇所、バリアフリートイレ （バリアフリー基準に対応）	男・女1箇所、身障者用トイレ
自動改札	4通路	4通路
券売機等	券売機3台（内1台はみどりの券売機プラス）・精算機1台	券売機3台（内1台はみどりの券売機プラス）・精算機1台
地下鉄との乗換距離（駅舎間の距離）	約20m	約100m

【概要図】



2 新駅舎の特徴

(1) コンセプト

「六地蔵の歴史継承と周辺開発をリードする新しい玄関口」

(2) 駅舎のデザイン

今後の駅周辺の発展を見据え、宇治市の新たな玄関口に相応しい“ゲート”をイメージした外観としました。また六地蔵の地名の由来となった大善寺六角堂（通称：六地蔵尊）から着想を得て、コンコースには六角形の吹き抜け空間をつくります。



完成イメージ（駅舎外観）



完成イメージ（駅舎内観）

※完成イメージは変更となる場合があります

3 供用開始予定

2023年春頃

4 駅前広場の整備

宇治市が駅前広場の改良工事を実施予定

今回のご案内の取り組みは、SDGs 目標の9番、11番、17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

